
ポケモンと一緒に進もう

時雨

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ポケモンと一緒に進もう

【Nコード】

N9836Z

【作者名】

時雨

【あらすじ】

ポケモンと旅に出ているいろいろなものをみたり聞いたりしたい少年の物語

プロローグ（前書き）

初めての作品です。

おもしろくないかもしれないけど見て下さい

ブログ

5年前

あの日、あの時、あの場所で君に会いに行く約束した。

友達がいなかった俺に初めて出来た友達。君のおかげで毎日が楽しかった。水辺で遊んだ、山できのみを採った、ケンカもした。だけど、別れはくる

ずっと一緒だと思っていた。

ずっとそばにいたと思っていた

いつか一緒に旅に出ると思っていた

ずっとそばにいられない。別れは突然やってくる。別れたくないがまた会えると信じて約束した。「いつかまた会う日まで元気でな」

「ラティマス」

1 歩

「いい天気だ」

俺は、あれからイッシュ、シンオウと旅をした．．．．．

．．．．．
．．．．．
．．．．．
．．．．．
．．．．．

というのはウソだ！

あれから5年たったけど、旅じゃなくて引っ越した！カツミレとフウロとシロナと知り合いになった。けどまだポケモンを持っていない。今日はワカバタウンに引っ越してきた。

「ゼノン、荷物を部屋に持って片付けなさい。」

オバサンがなんか言ってるがきこえない

あゝいい天気だなあ

「現実逃避してんじゃないわよ。アンタがめんどくさそうにしてないわけないんだから。」

ゴツ！

頭に衝撃が走った。

「~~~~~~~~ってえ、なにすんだよ、頭痛いんだけどバカな

の？死ぬの？」

「母親にバカはないでしょ」泣かされたい？」顔は笑ってるけど目が笑ってなかった。

「スミマセンでした」ズサー

その場で土下座する俺。母さんを怒らせたらヒドイ目にあうことな
ど産まれて17年の俺には分かる。あれだけはもうしたくない。

「ハア」もういいはウツギ博士の研究所にあいさつにいつて来なさい。その間に部屋の片付けをしとくから」

なに！！あいさつに行くだけで片付けをしなくていいだと！？

こんなおいしい話はない！すぐ行かなくては。「あいさつが終わったら早く帰ってくるのよ」「へーい」

この時俺は適当に返事をしていたが、ウツギ博士に会うことしか頭になかったのであんな事に巻き込まれるとは思ってもいなかった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9836z/>

ポケモンと一緒に進もう

2011年12月30日22時51分発行